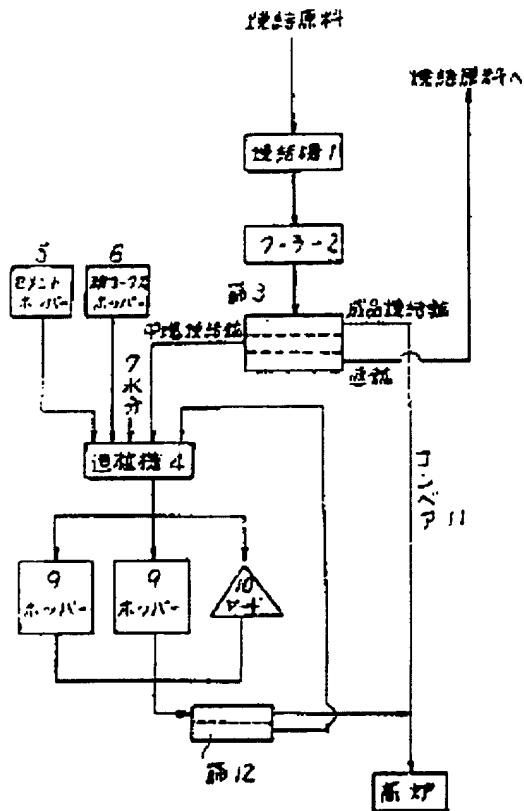


MANUFACTURE OF RAW MATERIAL FOR IRON MANUFACTURE EXCELLING IN REDUCING PROPERTY

Patent number: JP61207526
 Publication date: 1986-09-13
 Inventor: SHIMOMURA YASUHITO
 Applicant: NIPPON STEEL CORP
 Classification:
 - International: C22B1/14
 - european:
 Application number: JP19850048940 19850312
 Priority number(s): JP19850048940 19850312

Abstract of JP61207526

PURPOSE: To manufacture raw material for iron manufacture excelling in reducing properties by adding carbon material fines to the coarse grains of sintered ore and by carrying out mixing, pelletization and solidification. **CONSTITUTION:** The sintered ore discharged from a sintering machine 1 is cooled in a cooler 2 and screened through a sieve 3. The screened ore with about 10-20mm grain size is fed into a pelletizer 4, to which cement and coke breeze are supplied from hoppers 5, 6, respectively, so that pelletization is carried out with the simultaneous addition of necessary water 7. The sintered ore to which the coke breeze is sufficiently made to adhere by the pelletizer 4 is conveyed by a conveyer to hoppers 9 or a yard 10 and is stored there for curing until it solidifies. Then the pellets are screened through a sieve 12 and fed into a blast furnace through a conveyer 11. In this way, the effective utilization of carbon material fines and fine-containing carbon material which are so far limited in application can be attained.



Best Available Copy

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Requested Patent: JP61207526A

Title:

MANUFACTURE OF RAW MATERIAL FOR IRON MANUFACTURE EXCELLING IN REDUCING PROPERTY ;

Abstracted Patent: JP61207526 ;

Publication Date: 1986-09-13 ;

Inventor(s): SHIMOMURA YASUHITO ;

Applicant(s): NIPPON STEEL CORP ;

Application Number: JP19850048940 19850312 ;

Priority Number(s): ;

IPC Classification: C22B1/14 ;

Equivalents: ;

ABSTRACT:

PURPOSE:To manufacture raw material for iron manufacture excelling in reducing properties by adding carbon material fines to the coarse grains of sintered ore and by carrying out mixing, pelletization and solidification.

CONSTITUTION:The sintered ore discharged from a sintering machine 1 is cooled in a cooler 2 and screened through a sieve 3. The screened ore with about 10-20mm grain size is fed into a pelletizer 4, to which cement and coke breeze are supplied from hoppers 5, 6, respectively, so that pelletization is carried out with the simultaneous addition of necessary water 7. The sintered ore to which the coke breeze is sufficiently made to adhere by the pelletizer 4 is conveyed by a conveyer to hoppers 9 or a yard 10 and is stored there for curing until it solidifies. Then the pellets are screened through a sieve 12 and fed into a blast furnace through a conveyer 11. In this way, the effective utilization of carbon material fines and fine-containing carbon material which are so far limited in application can be attained.

⑫ 公開特許公報 (A) 昭61-207526

⑮ Int.Cl.⁴
C 22 B 1/14識別記号
厅内整理番号

⑯ 公開 昭和61年(1986)9月13日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 還元性にすぐれた製鉄原料の製造法

⑮ 特願 昭60-48940

⑯ 出願 昭60(1985)3月12日

⑰ 発明者 下村 泰人 北九州市八幡東区枝光1-1-1 新日本製鐵株式会社第三技術研究所内

⑱ 出願人 新日本製鐵株式会社 東京都千代田区大手町2丁目6番3号

⑲ 代理人 弁理士 秋沢 政光 外2名

明細書

1. 発明の名称

還元性にすぐれた製鉄原料の製造法

2. 特許請求の範囲

- (1)粗粒焼結鉱に微粉炭材または微粉含炭材とバインダーを加えて混合造粒し、固化させることを特徴とする還元性にすぐれた製鉄原料の製造法。
- (2)粗粒焼結鉱が+10mmの焼結鉱である特許請求の範囲第1項記載の方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は粉炭、粉コークス等の微粉炭材または集塵ダスト等の微粉含炭材を有効に活用するために粗粒焼結鉱と混合焼成化して製鉄用原料を製造する方法に関するものである。

塊度化された塊度化鉱は高炉用、直接還元炉用、電気製鉄用などの製鉄用原料として利用される。

(従来の技術)

高炉を有する製鉄所では、通常、燃料あるいは鉄鉱石の還元材料としてコークスが使用される。

コークスは石炭を高温で乾留して製造されるが、その製造過程において石炭を破碎して装入炭を準備する工程、コークスの乾式消火時、乾留後のコークスを破碎筛分けする工程などで粉炭または粉コークス等の微粉炭が発生し、さらに多くの集塵機でもダストと混在した含炭微粉が回収される。

これらの微粉炭材または微粉含炭材は、従来、焼結用の燃料として使用する、高炉羽口から燃料として吹込む、コークス炉へもどす、コールドペレットへ添加するなどの方法で処分されている。

微粉コークスをコールドペレットに添加する例としては例えば特開昭55-158236号公報記載の例がある。この例は、微粉鉄鉱石あるいはダスト等に粉コークスとセメントを混ぜ、造粒機で生ペレットとした後、飽和温度の雰囲気下で養生して高炉用原料として必要な強度を発現させる技術である。

このような含炭コールドペレットは、單に捨てられている炭材を高炉用の還元剤として回収するだけでなく、コールドペレットが高炉内を降下す

る際にペレット中の炭素がCO₂でガス化してCOとなり、その周りの鉄鉱石の還元を促進する大きなメリットを有している。

しかし、非焼成のコールドペレットは、焼結用原料としては不適な粉鉱石をさらに微粉化して使用するため粉碎処理が必要であり（前記例では-250μmが78%）コスト的に割高になること、強度的にも十分とはいせず、さらに高温でふくれが発生しやすいことなどが知られており、品質的にも十分とはいえないこと、またペレットは球状をしており、高炉内でのガス流れを制御するために装入分布を制御する際に中心部に転がり込むので分布制御が焼結鉱に比べて困難であることなどの問題がある。

また、微粉炭材または微粉含炭材はこのような含炭コールドペレットの他に前述したように焼結用あるいは高炉吹込用燃料、さらにはコークス炉へのリターンなどで処理されているが、必ずしも効率的に利用されているとはいせず、量的にも十分処理できない場合もある。特に微粒になるとほど取

扱いが難しく、好ましくない用途が多く、その有効な利用方法が無く、その活用法が切望されている。

(発明が解決しようとする問題点)

本発明はこのように製鐵所内その他の産業界で発生し、その用途がなかったり、あるいは用途が限定され、さらには余剰となった微粉炭材または微粉含炭材を有効に活用して還元性にすぐれた製鐵原料を製造する方法を提供することを目的としている。

(問題点を解決するための手段)

本発明は、前述の目的を達成するために、通常の焼結鉱の球上成形、好ましくは特定粒度以上の粗粒焼結鉱にコークス製造過程、その他で発生した粉炭、粉コークス等の微粉炭材、あるいは集塵機等で回収した含炭素ガストなどの微粉含炭材とバインダーを混合造粒後、固化させて製鐵用原料を製造することに特徴を有する。

すなわち、本発明の要旨は、粗粒焼結鉱に微粉炭材または微粉含炭材とバインダーを加えて混合

-3-

造粒し、固化させることを特徴とする還元性にすぐれた製鐵原料の製造法である。粗粒焼結鉱は+10mmの焼結鉱であることが好ましい。

(作用)

以下本発明について詳細に説明する。

本発明者は製鐵所内等で発生する微粉炭材または微粉含炭材を有効に活用することを研究する過程で以下のことに着目した。

(1) 焼結鉱は気孔が多く表面も凹凸が大きいこと。

(2) 高価な強粘結炭等から発生した微粒の炭材または含炭素粉を最も効率的に利用するには鉄鉱石の還元剤として使うことが最良であり、そのためにはトラブルのない形で高炉等に装入するか、または還元ガス化する必要があること。

(3) 高炉ではコークスと焼結鉱等の鉱石類を別々に層状に装入しているが、鉱石層中にも少量の小粒コークスを混合すれば還元の促進と炭素効率が向上することが認められ、実用化されていること。

-4-

(4) 高炉の装入分布を制御するには球状のペレットよりも焼結鉱のような形状を有することが望ましいこと。

そこでこれらに着目して引続き研究した結果、焼結鉱には気孔が多く表面も凹凸が大きいので、焼結鉱に微粉炭材または微粉含炭材とセメント等のバインダーを少量加えてボーリングドラム、皿型造粒機などの造粒機で処理すれば焼結鉱の四部に容易に微粒炭素粉が入り込んで付着し、その後ホッパーなどで養生してやれば製鐵原料に適した強度を有し還元性がすぐれた造粒物が得られることを見い出した。

しかも都合の良いことには、本発明法で造粒を行う場合には微粉炭材または微粉含炭材は焼結鉱の全面を覆うのではなく、主に四部に入り込むのでホッパー等で養生してもお互にくっつかず、しかも鉱石粉より強度の大きい焼結鉱を使ひるので造粒物がこわれにくい利点もある。

こうして処理された焼成鉱は、高炉内に装入されると高炉で付着炭素がCO₂でガス化されて

COを生成し、焼結鉱の酸化鉄を効率よく還元する。

また、このように還元が促進されることによって更に高温の炉内での融滑温度が高まり炉内の通気性を阻害しないため製鉄原料としては最も好ましい性状を有することになる。

本発明においては、焼結鉱としては通常の筛上成品をそのまま使用しても良いが、焼結鉱中の粗粒子ほど凹部が多く、微粉の炭材または含炭材の入り込みが容易であること、および粗粒ほど被還元性が悪いのでこれに炭材を加えて還元を加速してやれば良いことなどから、好ましくは通常の焼結鉱の筛上成品をさらに筛分けして粒度が+10mm、最も好ましくは+20mmの粗粒を使用する。但し炭材または含炭材とバインダーを添加して混合造粒を行う場合の容易さからは、粒度としては10~20mm位が好ましい。

一方、発生した微粉炭材量または微粉含炭材量に見合うだけの焼結鉱を回収するために、+10mmの粒度範囲内において筛目を調整して筛上鉱を回

収することによって発生した微粉炭材または微粉含炭材を100%利用することができる。

第2図に通常の焼結鉱と本発明によって製造した製鉄用原料を模式図で示した。同図(b)に示すように、本発明で製造した塊成鉱は焼結鉱21の気孔部22や凹部23に微粉炭材24が入り込んだ状態で固化されているので還元性が著しく優れている。また、塊成鉱の形状も焼結鉱に近い形状を維持しているので、製鉄原料として使用するに際しても装入分布の制御には何ら支障がない。

以下、本発明による処理プロセスの一例を第1図にしたがって説明する。

焼結機1から排出される焼結鉱はある程度までクーラー2で冷却され、その後筛3で筛分けて粉を除く。この際、筛を多段にして適当な粒度のものを筛分けて造粒機4に供給できるようにするのが良い。その場合の筛分け粒度範囲と造粒機4への送り出し量は、製鉄所内等で回収される粉コーカス等の微粉炭材量に依って調整し、+10mmの範囲、好ましくは粒度が10~20mmの範囲で回収量を

-7-

調整するように筛3を準備するのがよい。

造粒機4には側に設けたホッパー5、6より夫々セメント粉と、炭材として粉コーカスを供給する。同時に必要な水分を7より添加する。添加するセメント粉の量は焼結鉱の粒度、表面性状等によって調節する。造粒機4中で粉コーカスを十分に付着させた焼結鉱はコンベヤー8でホッパー9またはヤード10に送られ、ここで固化するまで何日間か養生のため貯蔵する。その後直接高炉へ送るために焼結コンベヤー11にのせるか、或いは筛12で筛分けた後コンベヤー11に供給しても良い。

(実施例)

以下に示す量比で造粒原料を配合してこれを皿型造粒機に装入し、5分間回転造粒を行った。

・ 10mm以上、20mm以下の粒度の焼結鉱	50kg
・ コークス工場で回収した微粉コークス (-1mm 100%)	10kg
・ バインダー（ポルトランドセメント粉、 -40メッシュ 100%）	0.5kg
・ 水添加	0.5kg

-8-

造粒後5mmのバースクリーンを通して微粉を除去して55kgの塊成鉱を得た。この除去粉は造粒原料として再循環使用することができる。

このようにして得られた造粒物をホッパーで養生を行い、その時の養生時間と2mmの高さからの落下時に剥離する粉量の関係を第3図に示した。この第3図から3日以上養生すれば十分な付着強度が得られることがわかる。

次に、養生後の塊成鉱の還元性状を通常の焼結鉱の筛上物と比較した結果を第4図に示した。試験方法は高炉内条件を考慮して還元ガスはCO 30%、CO₂ 10%、N₂ 60%組成のガスを使用して1000℃まで昇温加熱した。第4図の結果から、本発明によって得た塊成鉱は通常焼結鉱に比べて被還元性が改善されていることがわかる。

(発明の効果)

本発明によって、従来その用途が限定されたり利用されていなかった微粉炭材または微粉含炭材を有効に活用する途が拓かれ、しかも従来の焼結鉱より被還元性のすぐれた製鉄原料が得られるの

で工業的なメリットは大きい。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の処理フローの一例を示す図、

第2図は従来の焼結鉱(同図(a))と本発明法による塊成鉱(同図(b))とを模式的に示す図、

第3図、第4図は本発明の実施例の結果を示す図である。

1…焼結鉱、2…クーラー、3…篩、4…造粒機、5…ホッパー、6…粉トグスホッパー、7…水分、8…コンベヤー、9…ホッパー、10…ヤード、11…コンベヤー、12…篩、21…焼結鉱、22…気孔部、23…凹部、24…微粉炭材。

代理人弁理士 秋沢政光

他2名

-11-

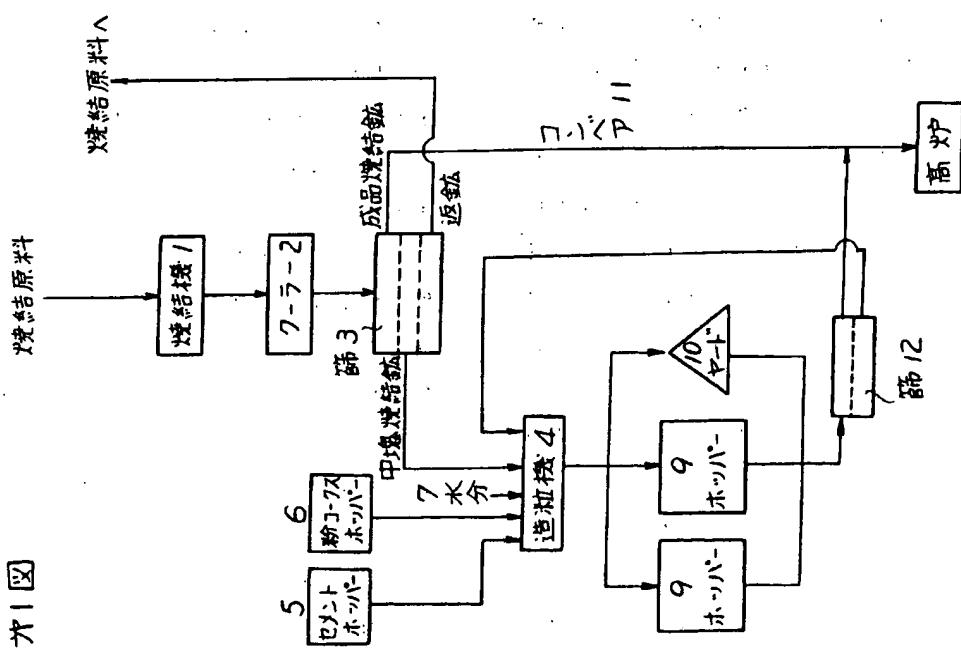


図3 図

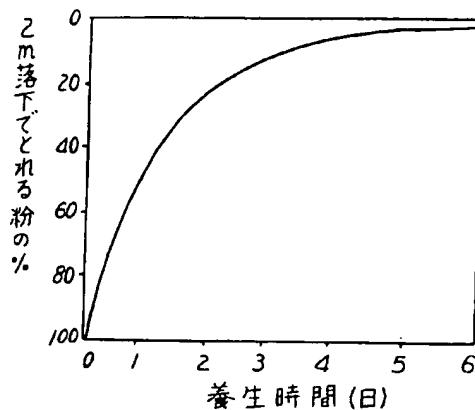


図2 図

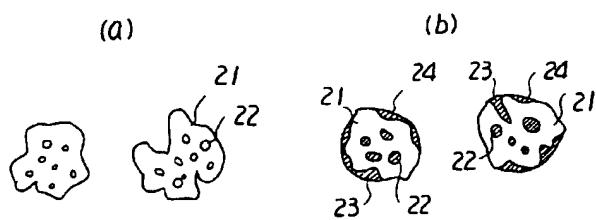
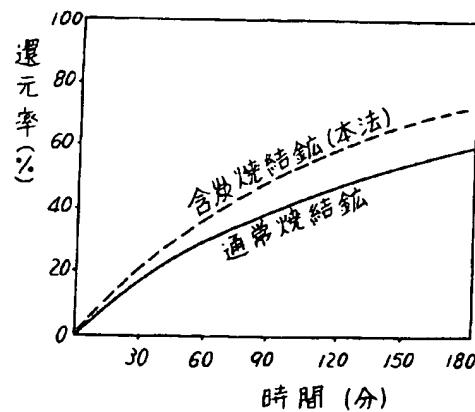


図4 図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.